

2010 年国際免疫学会議・組織委員会ニュース

第 12 号:平成 22 年 3 月 15 日 組織委員会・阪大事務局発行



Bravo ! !

ICI 2010 への抄録提出数が約 3,800 となりました！！

皆様からのご協力のおかげで、予想をはるかに超える数の抄録が集まりました。まことに有難うございました。これはブラジルの時の数よりも約 1,000 題多い数です。国別演題提出数を上位国から示します。



日本 : 1,153、USA : 374、中国 : 194、イラン : 173、韓国 159、台湾 : 155、ドイツ : 127、オーストラリア : 125、スウェーデン : 101、ロシア : 99、イギリス : 94、カナダ : 78、フランス : 75、ブラジル : 73、イタリア : 44、チェコ : 43、ポーランド : 42、インド : 42、メキシコ : 41、シンガポール : 37、タイ : 36、フィンランド : 33、オランダ : 27、オーストリア : 27、デンマーク : 26、スイス : 25、トルコ : 21、スペイン : 21、イスラエル : 21、ポルトガル : 17、ウズベキスタン : 17、ベルギー : 15、南アフリカ : 13、ノルウェー : 12、ルーマニア : 11、と続きます。

地域別にみると、

アジア : 2,054 (日本 1,153、日本以外 901)、オセアニア : 134、ヨーロッパ : 912、北米 : 493、南米 : 103、アフリカ : 45、となります。

次に、各ワークショップへの抄録提出数をもとに、プログラム委員会がワークショップの新設および統廃合を行い、総ワークショップ数が 115 となりました。変更内容を下に示します。新たに決まった座長候補には現在、依頼状を送付しているところです。

1. Lectins と Glycoimmunology を合併。
2. Toll-like receptors を 2 つに増やす。
3. Intracellular receptors to bacterial infection と Intracellular receptors to viral infection を合併。
4. Neutrophils and other myeloid cells と Granulocytes in inflammation を合併。
5. Dendritic cells: function, Dendritic cells: pathology を合併して、Dendritic Cells I, II に再編成。

6. Invertebrate immunity と Evolution of immune systems を合併。
7. Hematopoietic cells と Application of iPS technology to immunotherapy を合併。
8. Repertoire selection を廃止して、T cell development, B cell development に組み込む。
9. Regulatory T cells を2つに増やす。
10. T cell homeostasis と T cell memory を合併。
11. Tumor immunity and immunosurveillance を2つに増やす。
12. Immunity to virus infection (excluding retroviruses)を2つに増やす。
13. Immunity to mycobacterial infection と Vaccination and immunotherapy against mycobacteria を合併。
14. Genetic factors in allergies と Epidemiology in allergies を合併。
15. Immunoendocrinology と Metabolism and immunity を合併。
16. Vaccination and immunotherapy against bacteria と Vaccination and immunotherapy against fungi and parasites を合併。
17. Antibody therapy と B cell depletion therapy を合併。
18. DC-based therapies in immune diseases, Treg-based therapy, NKT-cell based immunotherapy の3つを Cell therapy (DC, Treg, NKT)として合併。

今後のおおよその予定は次のようです。

- ✚ 3月23日頃までに全てのワークショップ座長を決定し、ウィーンの IUIS 抄録事務局に座長名簿を提出。
- ✚ 3月24日頃から、ウィーンの IUIS 事務局から各座長宛に抄録査読依頼を行う。
- ✚ 4月中旬までに各座長が提出抄録を査読し、口演用演題を選考する。さらに、発表の順番をつけてワークショップのプログラムを構成する。
- ✚ この情報をもとに、4月中旬にワークショップのおおよその構成、日時を決める。
- ✚ 4月末にすべての抄録投稿者に、査読結果（口演、ポスター、不採用）をお知らせする。
- ✚ 5月前半にプログラム原稿を作成する。
- ✚ 6月から抄録集原稿を作成する。
- ✚ 8月初めに最終プログラムが出来あがる。
- ✚ 8月22日から ICI 2010 が始まる。

次に、日本免疫学会の一斉配信メールでもお伝えしていますが、参加者の皆さんには下記のことにご注意下さい。

1. **抄録提出は既に締め切られました**。原則として、すべての採択された抄録はポスター発表となり、その中から各ワークショップの座長により口演演題が選ばれます。

2. 登録料支払いはICI 2010 ウェブサイトからオンラインで可能です。早期登録割引は5月31日までです。この場合、一般の方は40,000円、学生は10,000円ですが、5月31日を過ぎると、一般の方は45,000円、学生は15,000円となりますので、ご注意ください。
3. ホテルの予約もICI 2010 ウェブサイトからできます。会議間際になると、予約が一杯となり、希望のホテルに宿泊が出来なくなりますので、早めのご予約をお勧めします。



当面、以上ですが、皆様からも組織活動に関するニュースがありましたら、遠慮なく、事務局までお知らせください。

阪大 ICI 2010 事務局：師井(もろい)悦子

tel. 06-6879-3971, fax. 06-6879-3979

e-mail: 2010ici@orgctl.med.osaka-u.ac.jp (I はエルです)

(文責: 2010 ICI 組織委員会事務局長・宮坂昌之)